



水

“生命の源”を 大切にしていますか

8月1日は「水の日」

家庭用水

一人一日当たりの使用量
175
トリツビールビン
276
本分

いま、わたしたちは、家庭でのくらの水を使っているのです。昭和五十年の全国平均でみると、一人一日当たり、百七十五リットルで、ビールびんに換算しま

すが、わたしたちの暮らしに欠かせない大切な「生命の源」であることは、いまさら言うまでもありません。水道の水が止まったら、家庭で学校で、病院で、工場で——わたしたちの生活はいたるところで立ち往生します。ところが、こうした水の大切さ

を頭では理解していても、ふだんの生活ではまだまだムダに水を使っている面が少なくありません。八月一日は「水の日」、この日から一週間は「水の週間」です。夏場は、一年のうちでも最も水を多く使う季節です。いま一度、暮らしの中の水の大切さを見直しましょう。

す。約二百七十六本分に相当します。昭和四十年の一日一人当たりの使用量は九十六リットル、ビールびん約百五十一本分ですから、十年間で約一・八倍と、二倍近くも家庭用水の需要が増えています。今後家庭用水の使用量は伸びるものと予測され、国土庁の推計によりますと、一日一人当たり、昭和六十年には二百三十六リットル、六十五年には二百六十リットルと昭和五十年の約一・五倍になっています。しかし、水道の水には限りがあります。そして、ダムによる水源の開発には、水源地の人々の協力、多額の建設費、長い歳月が必要で、つくられる水道の水——いまこそ、わたしたちは、ふだんの生活の中でムダのない合理的な水利用を實踐していく必要があります。

魔の薬 覚せい剤

最近、覚せい剤の常用者による理由のない通り魔犯罪が多く発生しています。このような犯罪を防止するために、次のような人を知ったり見たたりした場合には、お近くの警察官に連絡、ご相談ください。

覚せい剤常用者には、次のような特徴があります。

- 腕や腿などに注射の痕がある。
- 注射器や、白い粉などを持っている。
- 金使いが荒くなったり、夜遊びが多くなったり、不良仲間と交際する。
- 怒りっぽくなり、突発的に乱暴を働く、また、行動に一貫性がなくなる。
- シャブ・ヤク・ネタ・ポンなどの隠語を使う。

国民年金証書(福祉年金)を提出しましょう

福祉年金を受けておられる皆さん、郵便局で八月期分を受けとられたら、その場で国民年金証書と印鑑持参のうえ、町役場福祉係に提出して下さい。

国民年金証書には八月分までしか年支給の有無の状況(金)受給の有無の状況。以上のことをご審査して十一月の支払いにまにあうよう国民年金証書に金額を記入して、お返しします。



か年金支払額が記入されておりません。これは、毎年一回年金を受けている人が今後一年間年金を受けられることができるかどうかを、次のことにより審査するためです。

一、年金を受けている本人、その配偶者及び扶養義務者の所得額

二、公的年金(福祉年金以外の年

現在支給停止となっておられるかたは、一度役場福祉係で相談してみてください。